

平成26年8月27日

7年生保護者様

平成26年度 佐賀県学習状況調査結果の分析について

小城市立小中一貫校  
芦刈観瀾校  
校長 納富博文

平成26年4月22日に中学1・2年生を対象として「佐賀県学習状況調査」が実施されました。内容は国語・数学の2教科および学習・生活に関する調査でした。その結果を分析し、本校生徒の全体的な傾向と今後の指導について検討いたしましたのでお知らせいたします。なお、生徒一人一人の学習の状況につきましては、1学期末に「学習状況シート」を配布しております。また、家庭学習の時間の確保など、御家庭の協力が必要です。基本的な生活習慣の確立が学力に影響を及ぼすとも言われています。御家庭でもよろしく御指導お願いいたします。

	分析結果	今後の指導について
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体の正答率は、県平均と同程度である。</li><li>○観点別では、「話す・聞く」と「書く」と「言語事項」は県平均と同程度、「読む」は県平均を大きく下回っている。</li><li>○条件をふまえて文章を書くといった設問ができていない。</li><li>○表現技法についての理解が十分ではない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○示された条件がどういう意味、ねらいを持っているか理解するために、類似問題を解くなど演習を行う。</li><li>○それぞれの条件がどういう答え方を求めているのかを理解した上で、解答を組み立てる学習に取り組ませる。</li><li>○表現技法を使っているいろいろな事柄を表現することを通して、表現技法を理解させる。</li></ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体の正答率は、県平均を大きく上回っている。</li><li>○観点別では、「見方や考え方」は県を大きく上回っており、「技能」と「知識・理解」は県をやや上回っている。</li><li>○式と言葉を使って、求め方と答えを書く問題の正解率は、あまり高くない。</li><li>○少数と分数が混じった乗法・除法の計算、文字を使って関係を式に表す問題の正解率は、県を下回っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○式や言葉を使って説明する問題への習熟が必要である。そのため、同様の問題を、授業・定期テスト・課題など様々な場面で取り扱っていく。</li><li>○分析結果から「小数と分数が混じった式の計算」「文字を使って関係を式に表す問題」、本校8・9年生の分析結果から共通して苦手としている「指数をふくむ計算」「文字式に数値をあてはめる計算」などを重点的に、週末課題、昼休みや放課後の補充学習で補う。</li></ul>
生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none"><li>○友達関係はおおむね良好で、学校に行くのが楽しいと感じている生徒がほとんどである。</li><li>○ICTの整備が行き届いているため、電子黒板等の活用で授業が分かりやすくなったと答えた生徒が、県平均を大きく上回っている。</li><li>○読書に関する意識も読書量も県平均を大きく下回っている。まったく読書をしないという生徒が全体の4分の1いる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○今後もICTの利活用と授業の中でのコミュニケーション活動の設定等を積極的に取り入れ、生徒の学習への意欲を持続させていく。</li><li>○読書量や読書への関心の低さが、国語への関心や読解力の低さに表れていると考えられるので、全体的に読書量を増やしていく。教室への学級文庫の設置や集団読書の時間設定など、気軽に本を手にとれる環境を整え、読書を促していく。</li></ul>